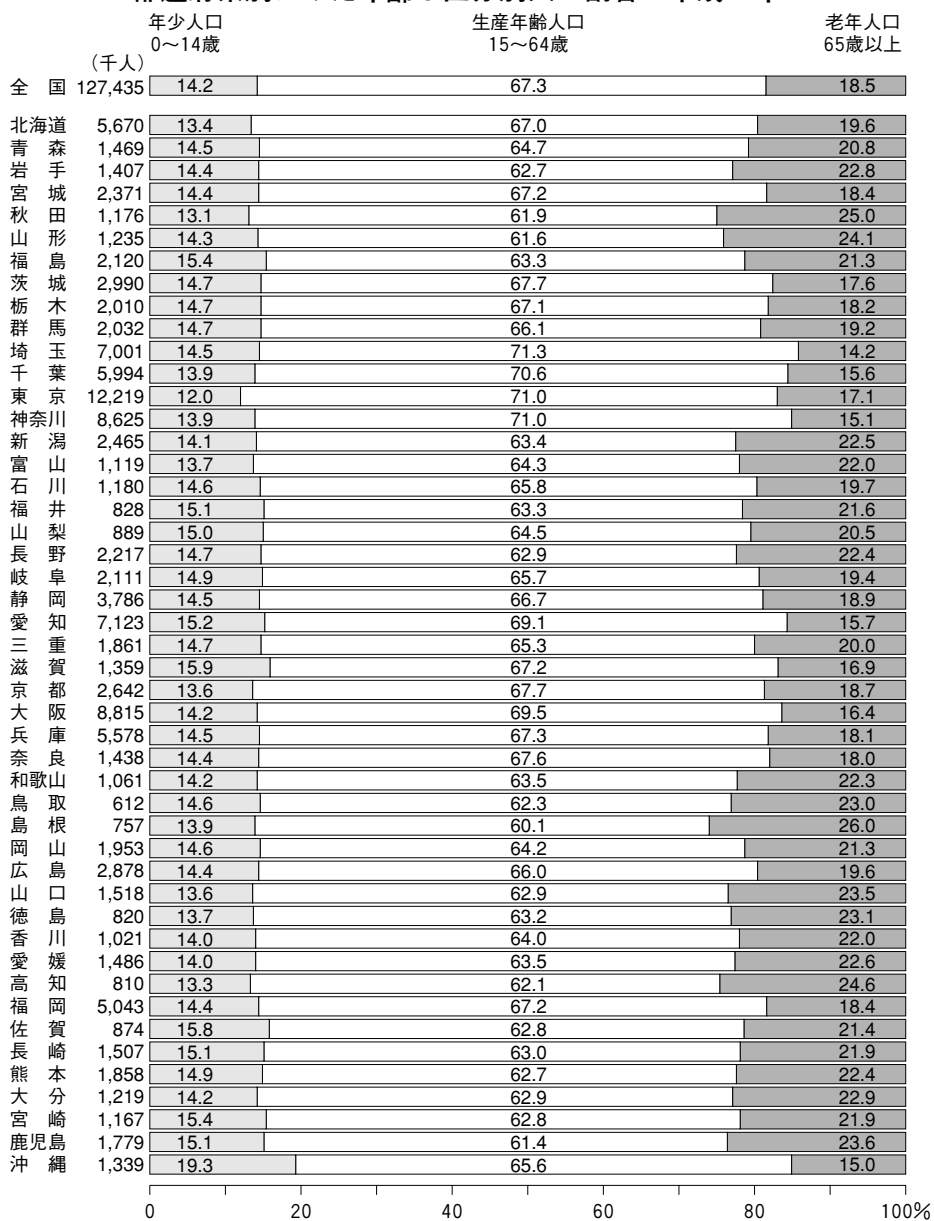


資料室

500 人口動態(2)

都道府県別にみた年齢3区分別人口割合—平成14年—



平成14年の人口を都道府県別に年齢3区分別割合をみると、老年人口の割合は、33道府県が全国平均の18.5%を上回っている。このうち、島根が26.0%と最も多く、次いで秋田25.0%、高知24.6%、山形24.1%の順となっている。逆に最も少ないのは埼玉の14.2%であり、次いで沖縄

15.0%、神奈川15.1%、千葉15.6%となっている。

また、年少人口の割合は、出生率が高い沖縄が19.3%で最も多く、次いで滋賀15.9%、佐賀15.8%となっている。これに対し、最も少ないのは、低出生率を反映した東京の12.0%である。

資料：総務省統計局「平成14年10月1日現在推計人口」